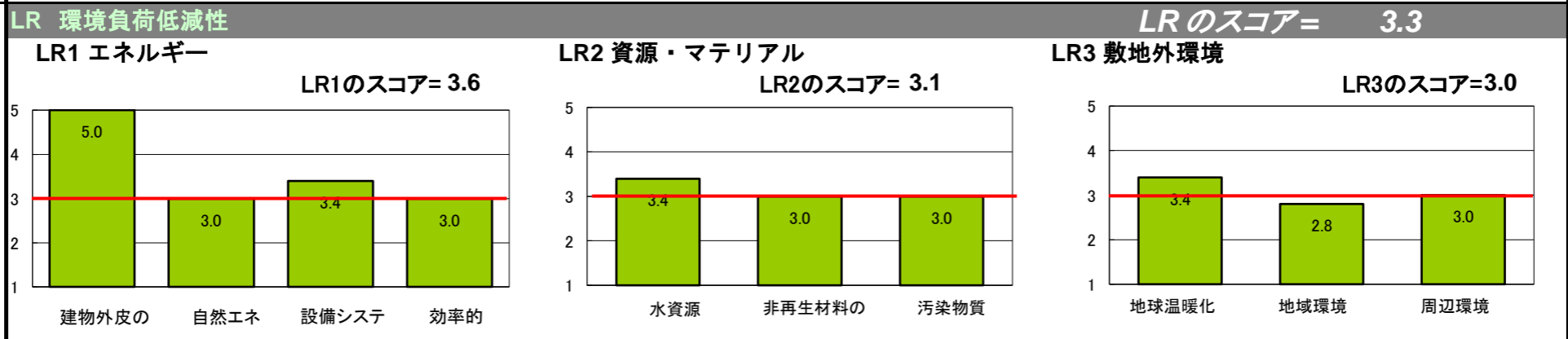
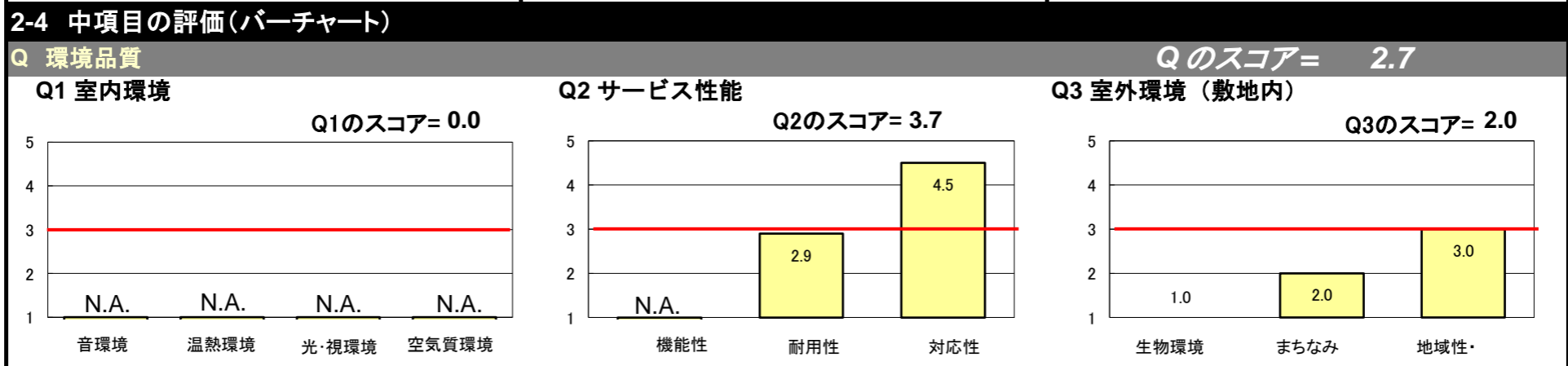
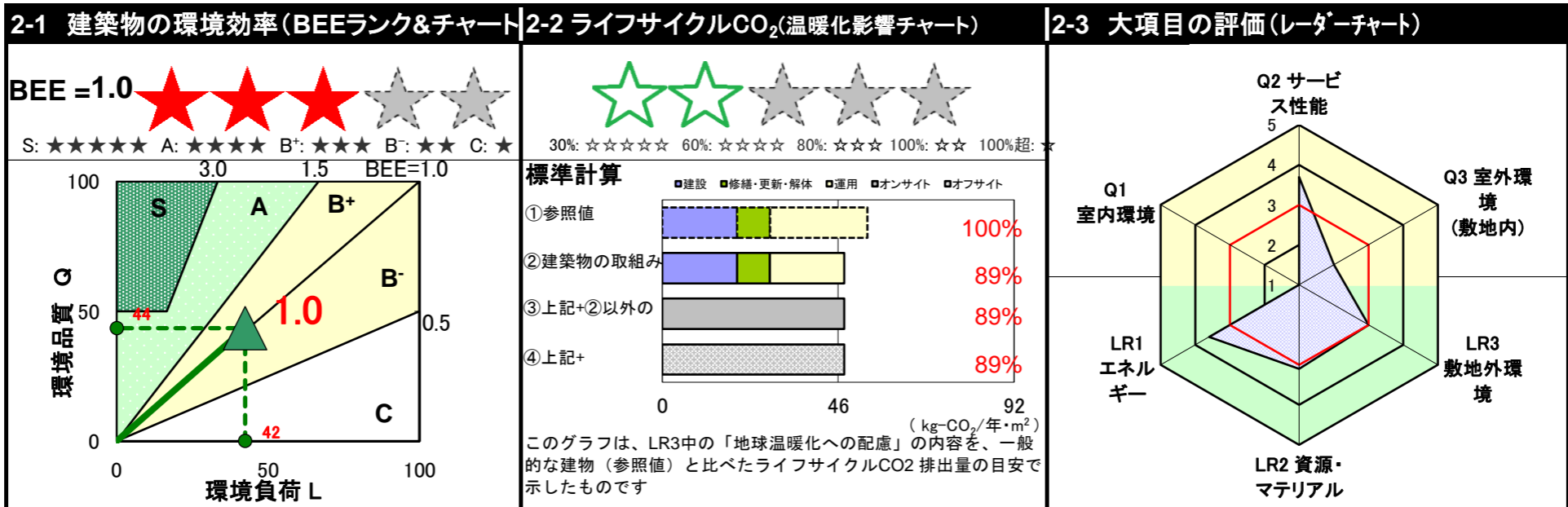
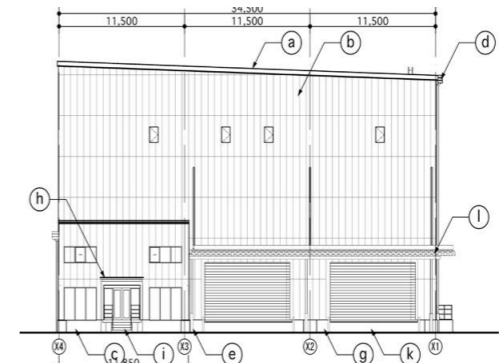


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中京陸運(株)春日定温倉庫	階数	地上3階
建設地	愛知県清須市春日新田91番、92番1、92番2、93番の一部、97番1の一部、97番2、98番、99番、100番、128番2の一部	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年11月1日
敷地面積	2,673 m ²	作成者	矢野 雄嗣
建築面積	1,866 m ²	確認日	2019年11月1日
延床面積	4,953 m ²	確認者	矢野 雄嗣



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.4</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.4</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							建物全体・共用部		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体						
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体									
		Q 建築物の環境品質																		2.7			
Q1 室内環境																							
1 音環境																							
1.1 室内騒音レベル														3.0		-		-		-		-	
1.2 遮音														-		-		-		-		-	
1 開口部遮音性能														-		-		-		-		-	
2 界壁遮音性能														-		-		-		-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-		-		-		-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-		-		-		-		-	
1.3 吸音														-		-		-		-		-	
2 温熱環境																							
2.1 室温制御														-		-		-		-		-	
1 室温														3.0		-		-		-		-	
2 外皮性能														3.0		-		-		-		-	
3 ゾーン別制御性														3.0		-		-		-		-	
2.2 湿度制御														3.0		-		-		-		-	
2.3 空調方式														3.0		-		-		-		-	
3 光・視環境																							
3.1 屋光利用														-		-		-		-		-	
1 屋光率														3.0		-		-		-		-	
2 方位別開口														-		-		-		-		-	
3 屋光利用設備														3.0		-		-		-		-	
3.2 グレア対策														-		-		-		-		-	
1 屋光制御														5.0		-		-		-		-	
3.3 照度														3.0		-		-		-		-	
3.4 照明制御														3.0		-		-		-		-	
4 空気環境																							
4.1 発生源対策														-		-		-		-		-	
1 化学汚染物質														3.0		-		-		-		-	
4.2 換気														-		-		-		-		-	
1 換気量														3.0		-		-		-		-	
2 自然換気性能														3.0		-		-		-		-	
3 取り入れ外気への配慮														3.0		-		-		3.0		-	
4.3 運用管理														-		-		-		-		-	
1 CO ₂ の監視														3.0		-		-		-		-	
2 喫煙の制御														3.0		-		-		-		-	
Q2 サービス性能																0.43						3.7	
1 機能性																							
1.1 機能性・使いやすさ														-		-		-		-		-	
1 広さ・収納性														3.0		-		-		-		-	
2 高度情報通信設備対応														3.0		-		-		-		-	
3 バリアフリー計画														3.0		-		-		-		-	
1.2 心理性・快適性														-		-		-		-		-	
1 広さ感・景観 (天井高)														3.0		-		-		-		-	
2 リフレッシュスペース														3.0		-		-		-		-	
3 内装計画														3.0		-		-		-		-	
1.3 維持管理														-		-		-		-		-	
1 維持管理に配慮した設計														3.0		-		-		-		-	
2 維持管理用機能の確保														-		-		-		-		-	
2 耐用性・信頼性														0.5		2.9		0.52		-		-	
2.1 耐震・免震・制震・制振														0.4		3.0		0.48		-		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														3.0		3.0		0.80		-		-	
2 免震・制震・制振性能														3.0		3.0		0.20		-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数														0.3		3.2		0.33		-		-	
1 躯体材料の耐用年数														-		3.0		0.23		-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														-		3.0		0.23		-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														-		3.0		0.09		-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														-		3.0		0.08		-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														-		3.0		0.15		-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔														-		4.0		0.23		-		-	
2.4 信頼性														0.1		2.2		0.19		-		-	
1 空調・換気設備														3.0		3.0		0.20		-		-	
2 給排水・衛生設備														3.0		2.0		0.20		-		-	
3 電気設備														3.0		3.0		0.20		-		-	
4 機械・配管支持方法														3.0		1.0		0.20		-		-	
5 通信・情報設備														3.0		2.0		0.20		-		-	

3 対応性・更新性			0.4	4.5	0.48	-	-	-	4.5
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	5.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.9	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性		②	-	4.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	5.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.59	3.0	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.76	3.0	3.4	0.50	-	-	3.4
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.1
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.0	0.63	-	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	鉄骨造	3.0	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-	-	
3 冷媒			3.0	3.0	1.00	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率0.886150424381738%	-	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			0.3	2.8	0.33	-	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.5	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音		独自	-	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動		独自	-	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10
② 資源の有効活用			3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22
Q2-3	対応性・更新性	4.5	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17
			外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 中京陸運(株)春日定温倉庫

計画上の配慮事項	
総合	柱スパンを一定にするなど、構造的にも無駄が無く、出来るだけ矩形にし、使用材料が無駄に多くならないよう工夫しました。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を使用しています。
Q2 サービス性能	適切な天井裏スペース及び点検口を設け、設備更新性に配慮しました。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし
LR1 エネルギー	特になし
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材・設備が容易に分別可能になっています。
LR3 敷地外環境	特になし
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。